

群馬県桐生市にある両毛漁業協同組合は、草木湖と梅田湖でワカサギ釣りも管轄。特に梅田湖では、梅田湖観光(有)が貸ボート店を営業しており、ワカサギ釣りの他、ヘラブナ釣りやルアーフィッシング等で大型ニジマスが狙える釣り場として賑わっています。氷結しない同湖はシーズンを通してポートから狙うスタイルで例年、10月上旬にワカサギ釣りが解禁。急峻な山間に囲まれていることで水深が深く、ワカサギが釣れる棚(水深)が目まぐるしく変化する等、テクニカルな釣り場として親しまれてきました。これまでも両毛漁協では、積極的なワカサギ増殖に取り組んでいて、その1つとして2018年度に本事業へご応募。支援後は、人工ふ化器を中心にご活用されてワカサギ資源の増殖に取り組まれています。支援以前は各地の釣り場と同様に、ワカサギ卵の産地から受精卵を購入し、自作したシュロ枠に受精卵を付着させて湖面に浮かべ、自然ふ化を待つという昔ながらの増殖方法を実践。しかし、多くの人手が必要で、毎年人の手配・調整だけでもとても大変で、さらに湖面に設置された受精卵が外敵から襲われやすかったり、ふ化の実態がほとんどわからない等のデメリットが多かったとのこと。また、使用したシュロ枠は、次年度の為に全てキレイに洗ってから保管する必要があり、その作業だけでも数日掛かる重労働。「ワカサギ増殖は、実際の作業以外にも大変な手間が掛かってましたから、LOVE BLUEからご支援いただいた後の労力は1/10、いや、それ以下になりました。人手不足は漁協の大きな悩みの1つですけど、それが大幅に軽減されて、釣り人の皆さんと釣り界からのご協力には、本当に感謝しております！」。

